



鹿屋とタイの魅力 全国に発信

2月20日、市と鹿屋中央高校、鹿屋農業高校からなる「チームかのや」が「ホストタウンサミット2021」にオンライン出演しました。これは、ホストタウン相手国であるタイの選手等のために考案した、地元食材を使ったおもてなし料理の成果発表を行ったもの。この日は、かのや紅はるか等の鹿屋の食材を使って、郷土料理のがねやタイの料理を作り、鹿屋の魅力を発信しました。



外国人の暮らしから SDGsを考える

2月21日、市役所で「かのやから世界を考えよう!～SDGsについて学ぼう～」が開催されました。これは、市内の中高生に持続可能な社会の実現に向けた国際目標であるSDGsを外国人と一緒に学んでもらおうと、鹿屋市国際交流協会が主催したものです。参加者は、SDGsに関するカードゲームや意見交換などを通して、世界共通の取り組みについて理解を深めました。



6次産業化で 農林水産省局長賞

2月16日、「6次産業化優良事例農林水産省食料産業局長賞」を受賞した有限会社ふくどめ小牧場の関係者が市役所を訪れました。この賞は、同社が家族で質の高い6次産業化に取り組んできたことが評価されて贈られたもの。この日は、取り組みや表彰式の様子が報告され、同社の福留公明ふくどめひろあきさんは「今後も付加価値の高い加工品を提供したい」と抱負を語りました。



地域への貢献を 称えて

2月26日、大隅地域振興局で「令和2年度おおすみの地域力表彰」が行われました。市内からは地域活性化に取り組んでいる「申良がんばる会」、「西俣盛り上げ隊壮青年部」、「食と暮らしのマルクト実行委員会」、共生・協働による地域づくりに取り組んでいる「特定非営利活動法人かのやコミュニティ放送」、「川西町内会地域安全パトロール隊」が受賞されました。



新入学児童が安心して 学校に通えるように

2月26日、県トラック協会の関係者が市役所を訪れ、交通標識入りの定規1,074本を市内の小学校に寄贈しました。交通安全を願い寄贈されたこの定規は、市内の新入学児童に配付されます。



子どもたちの作品を展示 火災予防を呼び掛ける

2月10日～16日、市内の商業施設で「防火ポスター・防火書道展」が開催されました。これは春季全国火災予防運動を前に行われているもので、応募作品1,620点の中から入選した144点が展示されました。



コロナに負けず たすきをつなぐ

2月13日～17日、「第68回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会」が開催されました。肝属チームは郷土入りの大会4日目が2位、総合結果では6位となり、力強い走り地域に活力を与えました。